

江府町の地域おこし協力隊の活動日記  vol.13

『江尾十七夜について』

今年も本部で、えびちゃんグッズ販売のお手伝い

江府町に来てから毎年、江尾十七夜では本部の物販のお手伝いなどをさせて頂いています。タオルやうちわ、エビちゃんグッズなどがとても人気です！あと、毎年感心してしまうのが、「だし」と言われる装飾の展示です。作品を見て、表彰状を描かせてもらったりもしていますが、とても良く出来ていて面白いので、十七夜以外の時も、町のあちこちで見られるようになればいいのにな～と個人的には思っています。

それと、去年は初めて「こだいち踊り」も体験できました！あの絶妙な太鼓の間合いが独特で、なんとも言えない魅力を感じます。遊びに来てくれた友人も浴衣を着て、可愛い傘をかぶれて、大喜びでした。今年は、どんな十七夜になるのか、今から楽しみです。



観光振興班 いわさき ちえ
岩崎 智恵

前夜祭では鉄板焼き師、当日は浴衣着付け師

江府町に移住してから十七夜の度に着付けなどを依頼してもらっております。元松竹衣裳の着付け師なので、たまにでもこうして着付けが出来る事はとても嬉しく思います。浴衣を着る機会は全国各地で減っていますが、こうした祭りの時などにでも日本の民族衣裳である着物（浴衣）に触れる人が、少しでも居てくれたらと願うばかりです。

普段は農作業ばかりなので、着物に触れる機会も、京都暮らしの時に比べて激減してしまいましたが、時代劇の着付けで鍛えたマニアックな着物の話は、今も頭の引き出しや身体が覚えています。着物の事で興味ある方がおられましたらお声かけください。

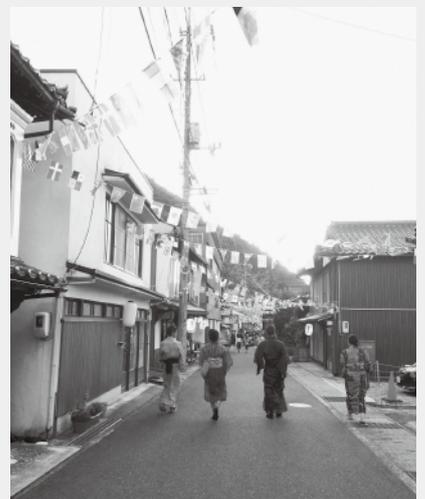
16日の前夜祭では、上之段広場にて鉄板焼き屋をします！



法人宮市班 まつもと よしふみ
松本 良史

昔の思い出、よみがえる祭り『十七夜』

日本の夏祭りは、子どもにとっては大きい楽しみです。小さい頃日本に住んでいた僕の記憶には、夏祭りに行くとき陽気にはしゃいで、スーパーボールと金魚すくいをしたり、賑やかに並ぶ屋台から綿あめやかき氷を食べた思い出が、いっぱい詰まっています。6歳からオーストラリアに引っ越して以来、夏祭りには全然足を運んでいません。江府町に来て、初めて十七夜に行った時は、子供の頃に味わった楽しい思い出が久しぶりに復活しました。祭りのメインの「こだいち踊り」も見られたし、江尾の街中が普段と全然違って、人と屋台で賑やかになっているのには驚きました。最後には花火も上がる、最高の祭りです。今年は、日本に遊びに来てている姪っ子達を十七夜に連れて行って、日本の夏祭りの思い出を作ってあげたいです。



農業振興班 くわはた さいもん
栗畑 才文